

7

就労支援

田中 真理

大学等は社会に出る前の最後の教育機関です。したがって、就労に向けた支援も重要となってきます。就職活動のゴールは社会人としてのスタートであることを考えると、「就職をすること」のみではなく、「働き続けること」をも視野に入れた



支援の観点が求められます。就職をし、そしてそれを継続すること、このことは社会参加への礎となります。

● 就職に向けて必要なスキル

- 体調管理：規則正しい生活、体調把握、悪化しないための予防、悪化時の対処
- 時間管理：予定、確認、実行、修正、将来ビジョン
- 情報収集：就職情報（障害者雇用も含む）の入手方法、多様な職業観、多様な就業・就労形態・制度
- ストレスコントロール：ストレス状況の把握、リフレッシュ方法
- 社会人マナー（ビジネスマナー）：職場に応じた報告・連絡・相談、会話のマナー、身だしなみ、態度、挨拶
- ビジネススキル：パソコンスキル、電話応対、メモを取る、雑談、休み時間の過ごし方
- セルフアドボカシー（セルフマネジメント）：支援を適切に表明するための援助要請力

以上の多様なスキルを習得するために、学内での支援の取組が必要です。

7

就労支援

● 就労支援プログラム

- エントリーシート講座：履歴書の作成・送付
- 面接講座：面接内容（自己紹介、志望動機、将来のビジョン等）、面接形式（グループでディスカッション、グループワーク、グループ面接、圧迫面接等）
- アルバイト、インターンシップ：職場体験、ジョブ・マッチングや将来のキャリアプランに向けた自己理解

このような支援の取組を進めるために、多機関にわたる学内外間の連携が不可欠となってきます。

● 学内外連携

- 学内連携：修学支援担当部署と就職支援担当部署との連携
- 学外との連携：ハローワークや地域の就労移行支援事業所、インターンの実施等を含む就職先となる企業や団体、大学等の間でガイダンスや説明会の合同開催等

